

2026年1月8日

各 位

会社名 株式会社フジ
代表者名 代表取締役社長 山口 普
(コード番号:8278 東証プライム市場)
問合せ先 取締役 上席執行役員 開発・企画担当
豊田 靖彦
(TEL 082-535-8516)
当社の親会社 イオン株式会社
代表者名 取締役兼代表執行役社長 吉田 昭夫
(コード番号:8267 東証プライム市場)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2025年4月10日に公表した2026年2月期(2025年3月1日～2026年2月28日)の通期連結業績予想について、下記のとおり修正することいたしましたので、お知らせいたします。

なお、2026年2月期期末配当予想については変更ありません。

記

1. 業績予想の修正について

2026年2月期 (2025年3月1日～2026年2月28日) (単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回発表予想(A)	815,000	15,500	16,800	5,500	63円48銭
今回修正予想(B)	814,000	10,600	11,800	5,700	65円78銭
増減額(B-A)	△1,000	△4,900	△5,000	200	—
増減率(%)	△0.1	△31.6	△29.8	3.6	—
(ご参考)前期実績 (2025年2月期)	808,928	12,953	14,315	3,818	44円06銭

2. 修正の理由

当期における小売業を取り巻く環境は、食料品や生活関連品の値上げの継続により、お客さまの節約志向が一段と高まる中、原材料価格の上昇や人件費をはじめとする各種コストの増加が収益を圧迫するなど厳しい状況が続いている。

当社では、お客さまの節約志向の高まりに対応した安さの提供や多様なニーズに合わせた付加価値の訴求、店舗の競争力強化に向けた既存店の活性化の取り組みにより、食料品を中心とする販売は堅調に推移しております。その一方で積極的な賃上げや物流費の高騰、老朽化した店舗の保守や修繕費用の増加等により、営業利益、経常利益は業績予想値を下回る見通しです。

親会社株主に帰属する当期純利益は、当社が保有する株式の売却により投資有価証券売却益(特別利益)を計上いたします。一方、将来的な収益基盤の強化を図り、店舗の資産価値の再評価や保有資産の効率化に向け、減損損失や閉店関連損失を計上することを見込んでおります。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以上